

India



Sri Lanka

Little Smiles

-For Children In the North, Sri Lanka-



「小さな笑顔プロジェクト」終了のご報告



アプカススタッフ一同より
ご厚意をお寄せくださった皆様へ

2009年6月の政府とLTTEの26年に渡る内戦終結のニュースが駆け巡る中、北部内戦難民キャンプに收容されたタミル人を中心とする人々は、移動や言論の自由を制限され、不衛生な狭いテントで暮らすことを強いられました。そんな大変過酷な環境で暮らす子どもたちにやさしさが詰まったプレゼントを届けたい。そのために「小さな笑顔プロジェクト」は立案されました。その趣旨に賛同し、当法人も6月から実施主体のスランガニ基金と共に募金活動を開始いたしました。



当初の予想を超え、大変たくさんの方々にご寄付をいただき、当法人に頂いた寄付総額は、日本円で32万714円(400,454スリランカルピー)となりました。

また、配布の準備をする中で予想外の収穫もありました。スマイルバックに入れるために、日本から使わなくなったたくさんの人形を送っていただいたり、サマポーシャという体に良い伝統のお菓子を一緒に入れるという素晴らしいアイデアが出たり、在スリランカの日本人の方がバッグへのパッキングを手伝ってくれたり、人の力を合わせて生まれるエネルギーを何度も見る事ができました。当初より盛りだくさんになったスマイルバックは、1200袋にもなりました！



しかし、実際のスマイルバックの配布を巡っては、キャンプの情報コントロールに敏感になっている政府との交渉に難航しました。スランガニ基金・馬場代表が、粘り強く交渉を重ね、当初の予定よりはだいぶ遅れてはしまいましたが、11月に配布する許可が下りました。軍部に撮影した写真のチェックを受け、12月のこの時期にようやく皆様に写真と共にご報告できる運びとなりました。私たちアプカスとしても、このプロジェクトを通して団体の垣根を超えることの重要性と共に、スランガニ基金から多くのことを学ばせていただきました。今後も協働事業を立案し、効果的に連動していければと思っております。また、機会があれば、様々な形で内戦難民を支援する活動にチャレンジしたいと考えています。

この度は、皆様のご支援ありがとうございました。



スランガニ基金 馬場 繁子代表からのメッセージ

沢山の方々のあたたかい思いがいっぱい詰まった1200個の赤いバックを11月17日に無事届けることができました。軍隊のトラックでスランガニ事務所からキャンプへと運搬、子どもたちの目を見つめながら、1つずつその手に渡すことができました。キャンプの子どもたちは、笑顔一杯で、見た目には栄養不足も予想していたより少なかったのがホッとしました。雨期ということで排水による汚水があちこちに流れ、淀んでいて、衛生環境は劣悪でした。

しかし、家庭により、女性の努力により、仮設のトタン住居の周りに野菜を植えていたり、それを使って料理していたりと頑張り面も見えました。女性は強いな、すばらしいなと思いました。

すべてのご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。



スランガニ

